



串間のみんなが期待しています。自分のやり方を信じて貰いなければ結果はついてくると思うので、もう一度日本一を掴んでほしいです。

福島高校野球部  
OB西村会 会長  
わたなべ ひろあき  
渡邊 広秋さん



2球団で監督を務めるのは実力に加え、人望があるからこそ。自分らが応援に行くと負けることが多いですが(笑)、また応援に行きます。

西村徳文串間応援団  
団長  
ふにゅう たかあき  
豊饒 隆彰さん



福島高校の先輩がプロの世界で活躍しているのでとても刺激になります。今度はオリックスで日本一を目指して頑張ってください。

福島高校野球部  
やまぐち しょうた  
山口 尚大さん



同じ小学校の先輩がプロ野球の監督をされていると聞いて誇りに思います。自分も努力してそういう選手に近づきたいです。

有明小学校6年  
たなか こうせい  
田中 孝成さん

## オリックス・バファローズ 社会人野球の道へ

### 西村 徳文監督

#### プロフィール

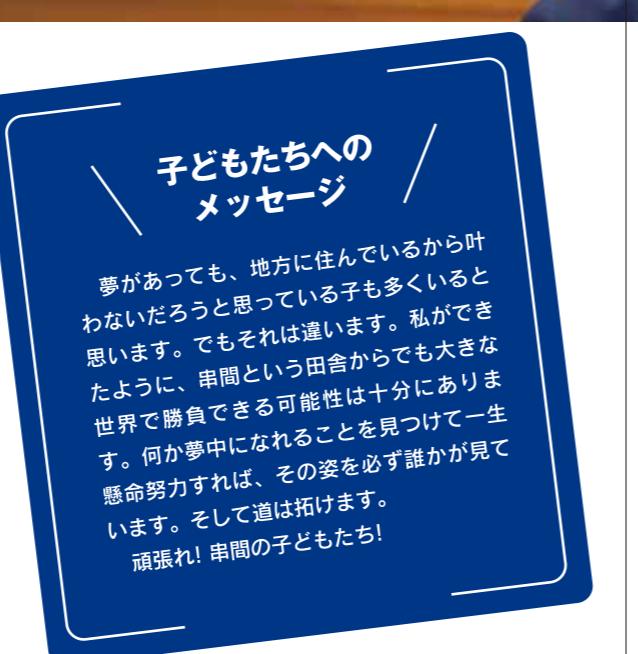
西村 徳文  
1960年1月9日生まれ(59歳)  
有明小、福島中、福島高校を卒業後、  
国鉄鹿児島鉄道管理局に就職。  
82年に球界入り。俊足巧打の選手として  
16年間の現役生活を送ったのち、ロッテ監督、  
昨年10月からはオリックスの監督に就任。

- よく遊んだ場所：今町の浜辺
- 好きな串間の食べ物：串間で造られた芋焼酎

#### 西村さんを変えた ある一言

「自分を選んでくれたスカウトの人に申し訳ないという気持ちでいました。監督が、「誰だよ、こんな選手を連れてきたのは」。そう言い放つたのです。

「自分を選んでくれたスカウトの人に申し訳ないという気持ちでいました。監督が、「誰だよ、こんな選手を連れてきたのは」。そう言い放つたのです。



高校卒業を目前に控え、就職先を考えていた西村さんは、国鉄鹿児島鉄道管理局への就職を志願しますが、就職倍率はとても高く、狭き門。そこで考えたのが国鉄野球部の枠から入社することでした。

高校まで野球を辞めると決めていた西村さんですが、能力テストを受けたみると見事合格。「合格したけど、それからまた何十年も野球を続けることになろうとは思っていましたでした。実は3年ぐらい経つたら串間に帰ろうなんて思っていたんですよ」

社会人生活4年が経った頃、大きな人生の転機が訪れます。1981年のドラフト会議で、3球団から指名を受け、ロッテオリオンズに入団。そんな気持ちを抱えながらプロ1年目の終わりを迎えた頃、忘れられない出来事が起こります。二軍の試合で凡打してベンチに戻ったときの

### 串間特産品とともに 西村さんを激励

2月17日、春のプロ野球キャンプで宮崎を訪れていたオリックス・バファローズを応援しようと、西村さんの同級生らで構成する「西村徳文串間応援団」やJA大東がキャンプ地の宮崎市清武総合運動公園(SOKKENスタジアム)を激励訪問しました。贈呈したのは、甘藷200kg、完熟きんかん「たまたま」30kg、デコポンや「せとか」計300個。受け取った西村さんは、「いつも応援していただいて感謝しています。結果を出して、恩返しできるように頑張ります」とコメントされました。



# 野球とともに歩んできた道のり

プロ野球開幕!  
西村 徳文監督  
&  
加治屋 蓮選手  
独占インタビュー

「将来の夢はプロ野球選手」。西村さんは小学校の卒業文集にそう記しています。

「テレビで観た野球選手に憧れて漠然と夢を抱いていました。本気で目指そうと思って書いたわけじゃなかったんですけどね」と笑う西村さんは、そんな西村さんの野球人生のルーツは少年時代の遊びの中にありました。

「当時は少年野球チームというものがなかったので、友だちと学校のグラウンドや浜辺で野球をしたり、サッカーをしたりしていました。

ボーラー遊びが好きだったので、遊ぶことは当たり前。おまけにいたずらも大好きで、悪さをして追いかけられることもしばしばだった

当時から俊足の片鱗をのぞかせていましたが、それを武器にしたプレーをしようと考えたことはなかつたと話します。「監督からは、何でもっと走ろうとしないんだ」とか頭になかった

福島中学校に入学し、念願だった野球部に入部。「野球をすることしか頭になかった」。そう話すほど、練習に明け暮れる日々を送ります。

福島高校に入学した西村さんは、もちろん高校でも野球を続けたのです。が、あまりの練習のきつさに野球へのか熱が冷めていきます。そんなとき興味を引いたのが、オートバイでした。

「現在の市営球場がある場所が昔は空き地だったんですよ。友人と集まってはバイクを乗り回していましたね。バイクに乗けば野球よりもバイクに

人生を変えた出来事でもあります。その後も、地方に住んでいるから叶わないと思っている子も多くいると思います。でもそれは違います。私ができただように、串間という田舎からでも大きな世界で勝負できる可能性は十分にあります。何か夢中になれるを見つけて一生懸命努力すれば、その姿を必ず誰かが見ています。そして道は拓けます。頑張れ! 串間の子どもたち!

### さかのぼること約50年

とか。絵に描いたようなわんぱく少

年時代を過ごした西村さん。俊足の下地はこのときに培われたのかもしれません。

下地はこのときに培われたのかもしれません。下地はこのときに培われたのかもしれません。

とか。絵に描いたようなわんぱく少年時代を過ごした西村さん。俊足の下地はこのときに培われたのかもしれません。

怒られたこともありましたよ。でも、それでも、チームとともにメキメキと力をつけて、県大会で優勝するなど、福島中学校は県内屈指の強豪校でした。

として名を馳せました。

「辞めることは構わない。ただ1つだけ条件がある。お前と同等の能力がある選手を代わりとして連れてきたら、退部を認める。つていうん

です。自分で言うのもなんですが、そんな選手そろはいませんからね。力がある選手を代わりとして連れてきたら、退部を認める。つていうん

です。自分で言うのもなんですが、そんな選手そろはいませんからね。力がある選手を代わりとして連れてきたら、退部を認める。つていうん

### 頭によぎった 退部の2文字

#### 頭によぎった 退部の2文字

「辞めることは構わない。ただ1つだけ条件がある。お前と同等の能力がある選手を代わりとして連れてきたら、退部を認める。つていうん

です。自分で言うのもなんですが、そんな選手そろはいませんからね。力がある選手を代わりとして連れてきたら、退部を認める。つていうん

です。自分で言うのもなんですが、そんな選手そろはいませんからね。力がある選